

K134 2		椎間板摘出術(後方摘出術)					
☐ 主たる術式1	☐ 従たる術式1	☐ Love法			☐ 経皮的レーザー椎間板減圧術		
☐ 主たる術式2	☐ 従たる術式2	☐ 椎間板摘出術(後方摘出術)			☐ ラジオ波ヘルニア熱凝縮術		
☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式3	☐ 顕微鏡下椎間板摘出術			☐ その他(詳細:)		
K134 3		椎間板摘出術(側方摘出術)					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K134 4		椎間板摘出術(経皮的髄核摘出術)					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K134-21		内視鏡下椎間板摘出(切除)術(前方摘出術)					
☐ 主たる術式1	☐ 従たる術式1	インシデント	なし / あり	インシデントレベル	2 / 3a / 3b / 4 / 5		
☐ 主たる術式2	☐ 従たる術式2	☐ 胸腔鏡下ヘルニア摘出術			☐ その他(胸腔鏡下手術)		
☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式3	☐ 腹腔鏡下ヘルニア摘出術			☐ その他(腹腔鏡下手術)		
		☐ 後腹膜鏡下ヘルニア摘出術			☐ その他(後腹膜鏡下手術)		
		☐ その他(詳細:)					
K134-22		内視鏡下椎間板摘出(切除)術(後方摘出術)					
☐ 主たる術式1	☐ 従たる術式1	インシデント	なし / あり	インシデントレベル	2 / 3a / 3b / 4 / 5		
☐ 主たる術式2	☐ 従たる術式2	☐ 内視鏡下(後方正中アプローチ)			☐ 経皮内視鏡下(後外側アプローチ)		
☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式3	☐ 内視鏡下(後方外側アプローチ)			☐ 内視鏡下(UBE/BESS後方正中アプローチ)		
		☐ 経皮内視鏡下(椎弓間アプローチ)			☐ 内視鏡下(UBE/BESS後方外側アプローチ)		
		☐ 経皮内視鏡下(経椎間孔アプローチ)			☐ その他(詳細:)		
K134-3		人工椎間板置換術(頸椎)					
☐ 主たる術式1	☐ 従たる術式1	☐ C3/C4		☐ C4/C5	☐ C5/C6	☐ C6/C7	
☐ 主たる術式2	☐ 従たる術式2	☐ 1椎間 →バーコードリーダーで機種を選択(1箇所)					
☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式3	☐ 2椎間 →バーコードリーダーで機種を選択(2箇所)①近位(頭側)②遠位(尾側)としてください					
※バーコード貼付欄①				※バーコード貼付欄②			
K134-4		椎間板内酵素注入療法					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K135		脊椎腫瘍切除術					
☐ 主たる術式1	☐ 従たる術式1	☐ 脊椎腫瘍切除術(Open)					
☐ 主たる術式2	☐ 従たる術式2	☐ 胸腔鏡下腫瘍摘出術					
☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式3	☐ その他(詳細:)					
K136		脊椎悪性腫瘍手術					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K136-2		腫瘍脊椎骨全摘術					
☐ 主たる術式1	☐ 従たる術式1	UIV		LIV			
☐ 主たる術式2	☐ 従たる術式2	☐ 頸椎前方固定術(椎間板切除:ACDF)		☐ 胸椎前方椎体間固定		☐ 胸腰椎椎体再建	
☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式3	☐ 頸椎前方固定術(椎体垂全摘:ACCF)		☐ 腰椎前方椎体間固定			
		☐ 経椎体(前方)椎間孔拡大術		☐ その他(詳細:)			
		☐ Lateral Interbody Fusion(LIF)(経大腰筋アプローチ(XLIFの手技に準じるもの))					
		☐ Lateral Interbody Fusion(LIF)(前大腰筋アプローチ(OLIFの手技に準じるもの))					
K138 1		脊椎披裂手術(神経処置を伴うもの)					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K138 2		脊椎披裂手術(その他のもの)					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K139		脊椎骨切り術					
☐ 主たる術式1	☐ 従たる術式1	UIV		LIV		UIV	
☐ 主たる術式2	☐ 従たる術式2	骨切り併用		☐ なし ☐ PSO(レベル:)		☐ VCR(レベル:)	
☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式3						
K141-3		脊椎制動術					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K142 1		脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。)(前方椎体固定)					
☐ 主たる術式1	☐ 従たる術式1	UIV		LIV			
☐ 主たる術式2	☐ 従たる術式2	☐ 頸椎前方固定術(椎間板切除:ACDF)		☐ 胸椎前方椎体間固定		☐ 胸腰椎椎体再建	
☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式3	☐ 頸椎前方固定術(椎体垂全摘:ACCF)		☐ 腰椎前方椎体間固定			
		☐ 経椎体(前方)椎間孔拡大術		☐ その他(詳細:)			
		☐ Lateral Interbody Fusion(LIF)(経大腰筋アプローチ(XLIFの手技に準じるもの))					
		☐ Lateral Interbody Fusion(LIF)(前大腰筋アプローチ(OLIFの手技に準じるもの))					

#2

JOANR 入力用フォーム

JSSR-DB

JOANR 調査票【JSSR-DB詳細版】

症例毎に記入。調査票はコピーしてご使用下さい。

手術日

西暦 年 月 日()

入力者備考

B 術式小分類(続)

K142 2		脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。)(後方又は後側方固定)										
☐ 主たる術式1	☐ 従たる術式1	UIV			LIV							
☐ 主たる術式2	☐ 従たる術式2	骨切り併用			☐ なし ☐ PSO(レベル:)			☐ VCR(レベル:)				
☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式3	椎体形成術併用			☐ なし ☐ 人工骨 ☐ 骨セメント							
		セメント注入スクリュー併用			☐ なし ☐ Th1 ☐ Th2 ☐ Th3 ☐ Th4 ☐ Th5 ☐ Th6 ☐ Th7 ☐ Th8 ☐ Th9 ☐ Th10 ☐ Th11 ☐ Th12 ☐ L1 ☐ L2 ☐ L3 ☐ L4 ☐ L5 ☐ L6 ☐ S1							
		☐ 後方固定(Open)			☐ 後側方固定(Open)							
		☐ 後方固定(Hybrid:Open+PPS)			☐ その他(詳細:)							
		☐ 後方固定(PPS)										
K142 3		脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。)(後方椎体固定)										
☐ 主たる術式1	☐ 従たる術式1	UIV			LIV							
☐ 主たる術式2	☐ 従たる術式2	骨切り併用			☐ なし ☐ PSO(レベル:)			☐ VCR(レベル:)				
☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式3	椎体形成術併用			☐ なし ☐ 人工骨 ☐ 骨セメント							
		セメント注入スクリュー併用			☐ なし ☐ Th1 ☐ Th2 ☐ Th3 ☐ Th4 ☐ Th5 ☐ Th6 ☐ Th7 ☐ Th8 ☐ Th9 ☐ Th10 ☐ Th11 ☐ Th12 ☐ L1 ☐ L2 ☐ L3 ☐ L4 ☐ L5 ☐ L6 ☐ S1							
		☐ PLIF(Open)			☐ 顕微鏡下MIS-PLIF							
		☐ TLIF(Open)			☐ 顕微鏡下MIS-TLIF							
		☐ MIS-PLIF			☐ その他(詳細:)							
		☐ MIS-TLIF										
K142 4		脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。)(前方後方同時固定)										
☐ 主たる術式1	☐ 従たる術式1	骨切り併用			☐ なし ☐ PSO(レベル:)			☐ VCR(レベル:)				
☐ 主たる術式2	☐ 従たる術式2	椎体形成術併用			☐ なし ☐ 人工骨 ☐ 骨セメント							
☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式3	セメント注入スクリュー併用			☐ なし ☐ Th1 ☐ Th2 ☐ Th3 ☐ Th4 ☐ Th5 ☐ Th6 ☐ Th7 ☐ Th8 ☐ Th9 ☐ Th10 ☐ Th11 ☐ Th12 ☐ L1 ☐ L2 ☐ L3 ☐ L4 ☐ L5 ☐ L6 ☐ S1							
		(前方手術)					(後方手術)					
		UIV			LIV			UIV			LIV	
		☐ 頸椎前方固定術(椎間板切除:ACDF)						☐ 後方固定(Open)				
		☐ 頸椎前方固定術(椎体垂全摘:ACCF)						☐ 後方固定(Hybrid:Open+PPS)				
		☐ 経椎体(前方)椎間孔拡大術						☐ 後方固定(PPS)				
		☐ LIF(経大腰筋アプローチ(XLIFの手技に準じるもの))						☐ 後側方固定(Open)				
		☐ LIF(前大腰筋アプローチ(OLIFの手技に準じるもの))						☐ その他(詳細:)				
		☐ 胸椎前方椎体間固定										
		☐ 腰椎前方椎体間固定										
		☐ 胸腰椎椎体再建										
		☐ その他(詳細:)						※LIF:Lateral Interbody Fusion				
K142 5		脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。)(椎弓切除)										
☐ 主たる術式1	☐ 従たる術式1	☐ 部分椎弓切除術			☐ 顕微鏡下椎弓切除術							
☐ 主たる術式2	☐ 従たる術式2	☐ 全椎弓切除術			☐ 選択的頸椎椎弓切除							
☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式3	☐ 棘突起縦割式椎弓切除術			☐ その他(詳細:)							
		☐ 後方椎間孔拡大術										
K142 6		脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。)(椎弓形成)										
☐ 主たる術式1	☐ 従たる術式1	椎弓スパーサー・プレート使用			☐ なし ☐ HASパーサー ☐ 金属プレート							
☐ 主たる術式2	☐ 従たる術式2	☐ 椎弓形成術(片開き)			☐ 椎弓形成術(片開き)+椎間孔拡大術							
☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式3	☐ 椎弓形成術(両開き)			☐ 椎弓形成術(両開き)+椎間孔拡大術							
		☐ 椎弓形成術(その他)			☐ 椎弓形成術(その他)+椎間孔拡大術							
		☐ 顕微鏡下椎弓形成術			☐ 顕微鏡下椎弓形成術+椎間孔拡大術							
		☐ 開窓術(形成)			☐ その他(詳細:)							
K142-21		脊椎側彎症手術(固定術)										
☐ 主たる術式1	☐ 従たる術式1	骨切り併用			☐ なし ☐ PSO(レベル:)			☐ VCR(レベル:)				
☐ 主たる術式2	☐ 従たる術式2	椎体形成術併用			☐ なし ☐ 人工骨 ☐ 骨セメント							
☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式3	セメント注入スクリュー併用			☐ なし ☐ Th1 ☐ Th2 ☐ Th3 ☐ Th4 ☐ Th5 ☐ Th6 ☐ Th7 ☐ Th8 ☐ Th9 ☐ Th10 ☐ Th11 ☐ Th12 ☐ L1 ☐ L2 ☐ L3 ☐ L4 ☐ L5 ☐ L6 ☐ S1							
		(前方手術)					(後方手術)					
		UIV			LIV			UIV			LIV	
		☐ なし						☐ なし				
		☐ 前方矯正固定(Open)						☐ 後方矯正固定(Open)				
		☐ LIF(経大腰筋アプローチ(XLIFの手技に準じるもの))						☐ 後方矯正固定(Hybrid:Open+PPS)				
		☐ LIF(前大腰筋アプローチ(OLIFの手技に準じるもの))						☐ 後方矯正固定(PPS)				
		☐ 胸椎前方椎体間固定						☐ その他(詳細:)				
		☐ 腰椎前方椎体間固定										
		☐ 胸腰椎椎体再建										
		☐ 胸腔鏡下矯正固定術										
		☐ 後腹膜腔鏡下椎体固定術										
		☐ その他(詳細:)						※LIF:Lateral Interbody Fusion				
K142-22 イ		脊椎側彎症手術(矯正術)(初回挿入)										
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3							
K142-22 ロ		脊椎側彎症手術(矯正術)(交換術)										
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3							
K142-22 ハ		脊椎側彎症手術(矯正術)(交換術)(胸郭変形矯正用材料を用いた場合)										
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3							

#2

JOANR 入力用フォーム

JSSR-DB

JOANR 調査票【JSSR-DB詳細版】

症例毎に記入。調査票はコピーしてご使用下さい。

手術日

西暦年 月 日 ()

入力者備考

B 術式小分類(続)

K142-22 ハ		脊椎側彎症手術(矯正術)(伸展術)					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K142-3		内視鏡下脊椎固定術(胸椎又は腰椎前方固定)					
☐ 主たる術式1	☐ 従たる術式1	インシデント	なし / あり	インシデントレベル	2 / 3a / 3b / 4 / 5		
☐ 主たる術式2	☐ 従たる術式2	☐ 胸腔鏡下椎体固定術(VATS)		☐ MEDシステム使用椎体固定術			
☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式3	☐ 腹腔鏡下椎体固定術		☐ FESSシステム使用椎体固定術			
		☐ 後腹膜鏡下椎体固定術		☐ UBE/BESSシステム使用椎体固定術			
		☐ 内視鏡併用MIS-TLIF		☐ その他(詳細:)			
K142-4		経皮的椎体形成術					
☐ 主たる術式1	☐ 従たる術式1	使用充填マテリアル		☐ 骨セメント ☐ Calcium Phosphate Cement(CPC)			
☐ 主たる術式2	☐ 従たる術式2			☐ Hydroxyapatite Block(HA) ☐ その他()			
☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式3			☐ Balloon Kyphoplasty(BKP) ☐ その他の椎体形成術()			
				☐ Vertebral Body Stenting(VBS)			
				☐ 経皮的椎体形成術(Percutaneous Vertebroplasty, PVP)			
K142-5		内視鏡下椎弓形成術					
☐ 主たる術式1	☐ 従たる術式1	インシデント	なし / あり	インシデントレベル	2 / 3a / 3b / 4 / 5		
☐ 主たる術式2	☐ 従たる術式2	☐ 内視鏡下頸椎椎弓形成術		☐ 経皮内視鏡下頸椎椎弓形成術			
☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式3	☐ 内視鏡下頸胸椎椎弓形成術		☐ 経皮内視鏡下頸胸椎椎弓形成術			
		☐ 内視鏡下胸椎椎弓形成術		☐ 経皮内視鏡下胸椎椎弓形成術			
		☐ 内視鏡下胸腰椎椎弓形成術		☐ 経皮内視鏡下胸腰椎椎弓形成術			
		☐ 内視鏡下腰椎椎弓形成術		☐ 経皮内視鏡下腰椎椎弓形成術			
		☐ 内視鏡下腰椎椎弓形成術(UBE/BESS)		☐ その他(詳細:)			
K142-6		歯突起骨折骨接合術					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K142-7		腰椎分離部修復術					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K142-8		顕微鏡下腰部脊柱管拡大減圧術					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K143		仙腸関節固定術					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K144		体外式脊椎固定術					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K149-2		後頭蓋窩減圧術					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K179		髄液漏閉鎖術					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K183		脊髓硬膜切開術					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K183-2		空洞・くも膜下腔シャント術(脊髓空洞症に対するもの)					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K184		減圧脊髓切開術					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K185		脊髓切截術					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K186		脊髓硬膜内神経切断術					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K188 1		神経剥離術(鏡視下によるもの)					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K188 2		神経剥離術(その他のもの)					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K188-2		硬膜外腔癒着剥離術					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K189		脊髓ドレナージ術					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K190		脊髓刺激装置植込術(脊髓刺激電極を留置した場合)					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K190		脊髓刺激装置植込術(ジェネレーターを留置した場合)					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K190-2		脊髓刺激装置交換術					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K191 1		脊髓腫瘍摘出術(髄外のもの)					
☐ 主たる術式1	☐ 従たる術式1	☐ 脊髓腫瘍摘出術(硬膜外)		☐ 脊髓腫瘍摘出術(硬膜内髄外)			
☐ 主たる術式2	☐ 従たる術式2	☐ 脊髓腫瘍摘出術(硬膜外)+固定併用		☐ 脊髓腫瘍摘出術(硬膜内髄外)+固定併用			
☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式3	☐ その他(詳細:)					
K191 2		脊髓腫瘍摘出術(髄内のもの)					
☐ 主たる術式1	☐ 従たる術式1	☐ 脊髓腫瘍摘出術(髄内のもの)					
☐ 主たる術式2	☐ 従たる術式2	☐ 脊髓腫瘍的手術(髄内のもの)+固定併用					
☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式3						
K192		脊髓血管腫摘出術					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		
K643		後腹膜悪性腫瘍手術					
☐ 主たる術式1	☐ 主たる術式2	☐ 主たる術式3	☐ 従たる術式1	☐ 従たる術式2	☐ 従たる術式3		

#2

JOANR 入力用フォーム

JSSR-DB

JOANR 調査票【JSSR-DB詳細版】

症例毎に記入。調査票はコピーしてご使用下さい。

手術日

西暦 年 月 日()

入力者備考

C 病名

大項目		中項目	小項目
□ 変性疾患・ヘルニア	頸椎	☐ 頸椎症性脊髄症	☐ 後弯なし
		☐ 頸椎椎間板ヘルニア	☐ 後弯あり（C2/7≧10度の後弯）
		☐ 頸椎症性神経根症（椎間板ヘルニアを除く）	
		☐ 頸椎症性筋萎縮症	
		☐ 頸椎椎間板症	
		☐ その他の頸髄症	☐ Klippel-feil症候群
		☐ DISHに伴う嚥下障害	☐ アテトーゼ型CP
			☐ 環椎（C1）低形成
	腰椎	☐ 腰部脊柱管狭窄症	☐ 軸椎歯突起後方偽腫瘍
		☐ 腰椎椎間板ヘルニア	
		☐ 腰椎椎間関節のう腫	☐ 中心性狭窄・外側陥凹狭窄
		☐ 腰椎椎間板症	☐ 椎間孔狭窄
		☐ 腰椎変性すべり症	☐ 脊柱管内ヘルニア
		☐ 腰椎分離すべり症	☐ 外側ヘルニア（椎間孔内・外）
		☐ 腰椎分離症（すべりのない、若年者）	
		☐ 形成不全性すべり症（先天性）	
		☐ Far-out syndrome	
		胸椎	☐ 胸椎椎間板ヘルニア
	☐ 胸椎症性脊髄症		
	☐ 胸椎椎間板症		
	☐ その他の胸髄症		☐ すべり
	☐ 脊髄ヘルニア		☐ ヘルニア
		☐ 脊椎症	
□ RA・透析・骨粗鬆症	☐ RA脊椎	☐ 環軸椎前方亜脱臼	
	☐ 強直性脊椎炎（骨折なし）	☐ 環軸椎垂直亜脱臼（頭蓋内陥入含む）	
	☐ 透析性脊椎症	☐ 軸椎下垂脱臼	
		☐ RA胸椎・腰椎病変	
	☐ 骨粗鬆症性脊椎骨折	☐ 急性期（受傷～4週）麻痺なし	
		☐ 急性期（受傷～4週）麻痺あり	
		☐ 亜急性期（4週～3か月）麻痺なし	
		☐ 亜急性期（4週～3か月）麻痺あり	
		☐ 遅延治癒（3～6か月）麻痺なし	
		☐ 遅延治癒（3～6か月）麻痺あり	
□ 腫瘍	☐ 脊髄腫瘍	☐ 癒合不全（6か月～1年）麻痺なし	
		☐ 癒合不全（6か月～1年）麻痺あり	
	☐ 脊椎腫瘍	☐ 偽関節（1年以上）麻痺なし	
		☐ 偽関節（1年以上）麻痺あり	
		☐ 脊髄腫瘍（髄内）	
		☐ 脊髄腫瘍（硬膜内髄外）	
□ 脊椎外傷	☐ 頸椎脱臼骨折・破裂骨折（歯突起骨折含む）	☐ 脊髄腫瘍（硬膜外）	
	☐ 胸腰椎脱臼骨折・破裂骨折	☐ 転移性	
	☐ 脱臼のない脊椎骨折（Chance骨折含む）	☐ 原発性（良性）	
	☐ AS/DISHに合併した椎体骨折	☐ 原発性（悪性）	
	☐ 非骨傷性脊髄損傷		
	☐ 骨盤骨折	☐ 麻痺あり	
		☐ 麻痺無し	
□ 脊椎感染症	☐ 感染性脊椎炎		
	☐ 硬膜外膿瘍のみ	☐ 化膿性	
		☐ 結核性	
		☐ 真菌性	
		☐ 非定型抗酸菌	

#2

JOANR 入力用フォーム

JSSR-DB

JOANR 調査票【JSSR-DB詳細版】

症例毎に記入。調査票はコピーしてご使用下さい。

手術日

西暦 年 月 日()

入力者備考

C 病名(続)

大項目		中項目	小項目	小小項目	
☐ 脊柱変形・奇形	☐ 側弯症	☐ 変性側弯症		☐ 上位胸椎 ☐ 主胸椎	
		☐ 特発性側弯症		☐ 胸腰椎/腰椎	
	☐ 後弯症	☐ 先天性側弯症		☐ 上位胸椎+主胸椎の二重側弯	
		☐ 神経・筋原性側弯症(上位下位ニューロン障害・筋ジストロフィーなど)		☐ 主胸椎+胸腰椎の二重側弯	
		☐ その他の症候性側弯(NF-1、Marfan症候群、胸郭性側弯、骨形成不全症など)		☐ 三重側弯	
☐ 変性後弯症					
☐ 後側弯症	☐ 椎体骨折後後弯症				
	☐ 医原性後弯症				
	☐ 先天性後弯症				
	☐ ショイエルマン病				
	☐ 首下がり症候群				
☐ 後側弯症	☐ 強直性脊椎炎/DISH				
	☐ その他症候性後弯症(NF-1, 結核後変形, Larsen症候群など)				
	☐ 後側弯症	☐ 変性後側弯症		☐ 上位胸椎 ☐ 主胸椎	
		☐ 椎体骨折後後側弯症		☐ 胸腰椎/腰椎	
	☐ 後側弯症	☐ 医原性後側弯症		☐ 上位胸椎+主胸椎の二重側弯	
☐ 先天性後側弯症		☐ 主胸椎+胸腰椎の二重側弯			
☐ 後側弯症	☐ 神経・筋原性後側弯症		☐ 三重側弯		
	☐ その他の症候群性後側弯症				
☐ 靱帯骨化症関連	☐ 環軸椎回旋位固定				
	☐ 環軸椎不安定症 (RA脊椎を除く)				
	☐ 歯突起骨				
	☐ アーノルドキアリ奇形				
	☐ 脊髄稽留症候群				
	☐ 脊髄・硬膜血管病変(動静脈奇形・動静脈含む)				
	☐ シャルコー脊椎				
	☐ 脊椎披裂				
	☐ 頸椎黄色靱帯石灰化症				
	☐ 頸椎黄色靱帯骨化症				
☐ 頸椎後縦靱帯骨化症	☐ 頸椎後縦靱帯骨化症		☐ 占拠率<50% ☐ 占拠率≥50%		
	☐ 胸椎黄色靱帯石灰化症				
	☐ 胸椎黄色靱帯骨化症				
	☐ 胸椎後縦靱帯骨化症				
	☐ 腰椎黄色靱帯石灰化症				
	☐ 腰椎黄色靱帯骨化症				
	☐ 腰椎後縦靱帯骨化症				
	☐ Flexion Myelopathy				
	☐ 硬膜外血腫				
	☐ 脊髄くも膜嚢腫・硬膜嚢腫・硬膜外くも膜嚢腫				
☐ その他	☐ 脊髄空洞症				
	☐ 予定された手術				
	☐ 骨癒合不全・偽関節				
	☐ 不安定性				
	☐ 治療目的に到達しない場合				
☐ 再手術・追加手術に至った病名(理由)	☐ 神経症状の残存や悪化				
	☐ 手術部位感染(表層)				
	☐ 手術部位感染(深部、臓器/体腔)				
	☐ インプラントの誤設置				
	☐ インプラント不具合				
	☐ 脊柱オフバランス				
	☐ 固定隣接椎間障害				
	☐ 血腫				
	☐ 髄液漏(硬膜損傷)				
	☐ インプラントの抜去				
	☐ 上記分類以外	☐ その他(テキスト入力)			

■術中合併症

	☐ なし	☐ 硬膜損傷 ☐ 大量出血(2000ml 以上) ☐ 神経損傷(脊髄) ☐ 神経損傷(馬尾) ☐ 神経損傷(神経根) ☐ セメント漏出(椎体形成に伴うもの(脊柱管内)) ☐ セメント漏出(椎体形成に伴うもの(血管内)) ☐ セメント漏出(セメント注入スクリュー関連(脊柱管内)) ☐ セメント漏出(セメント注入スクリュー関連(血管内)) ☐ 大血管損傷 ☐ 椎骨動脈損傷 ☐ その他の血管損傷 ☐ 前縦靱帯損傷 ☐ 椎体損傷 ☐ 関節突起骨折 ☐ Implant 関連 ☐ 高位・左右誤認 ☐ 従来法(open)に変更 ☐ 主要臓器関連 ☐ その他()		
硬膜損傷	合併症への対応	☐ 一次修復 ☐ フィブリン糊 ☐ 人工硬膜 ☐ 脂肪移植 ☐ スパイナルドレナージ ☐ その他()		
大量出血(2000ml 以上)	出血量	2000～3000ml / 3000ml 以上		
	合併症への対応	☐ 同種血輸血 ☐ 自己血輸血 ☐ 術中回収血 ☐ 経過観察 ☐ その他()		
神経損傷(脊髄)	合併症への対応	ステロイド投与 / 経過観察 / 椎弓切除等 / その他()		
神経損傷(馬尾)	合併症への対応	ステロイド投与 / 経過観察 / 椎弓切除等 / その他()		
神経損傷(神経根)	合併症への対応	ステロイド投与 / 経過観察 / 椎弓切除等 / その他()		
セメント漏出(椎体形成に伴うもの(脊柱管内))	合併症への対応	☐ 外科的摘出 ☐ 除圧 ☐ その他()		
セメント漏出(椎体形成に伴うもの(血管内))	合併症への対応	☐ 外科的摘出 ☐ その他()		
セメント漏出(セメント注入スクリュー関連(脊柱管内))	合併症への対応	☐ 外科的摘出 ☐ 除圧 ☐ その他()		
セメント漏出(セメント注入スクリュー関連(血管内))	合併症への対応	☐ 外科的摘出 ☐ その他()		
大血管損傷	合併症への対応	☐ 圧迫止血のみ ☐ 当該科による縫合 ☐ 専門科(血管外科等)による処置 ☐ カテーテル ☐ その他()		
椎骨動脈損傷	合併症への対応	☐ 圧迫止血のみ ☐ 当該科による縫合 ☐ 専門科(血管外科等)による処置 ☐ カテーテル ☐ その他()		
その他の血管損傷	合併症への対応	☐ 圧迫止血のみ ☐ 当該科による縫合 ☐ 専門科(血管外科等)による処置 ☐ カテーテル ☐ その他()		
前縦靱帯損傷	合併症への対応	インプラントの追加・入れ替え / その他()		
椎体損傷	合併症への対応	インプラントの追加・入れ替え / その他()		
関節突起骨折	合併症への対応	インプラントの追加 / その他()		
Implant 関連	合併症への対応	☐ インプラントの入れ替え ☐ インプラントの摘出 ☐ 固定の追加 ☐ その他()		
高位・左右誤認	誤認の詳細	上位椎(間)への誤認手術 / 下位椎(間)への誤認手術 / 左右の誤認手術 / その他()		
主要臓器関連	合併症	☐ 上腸管膜動脈症候群 ☐ 腹腔動脈圧迫症候群 ☐ 尿管損傷 ☐ 腎損傷 ☐ 肺損傷 ☐ 気胸 ☐ 血胸 ☐ 腸管損傷 ☐ 肝損傷 ☐ 乳び胸(胸腔) ☐ 食道損傷 ☐ 反回神経麻痺		
└ 上腸間膜動脈症候群	合併症への対応	☐ 経過観察 ☐ 当該科による処置 ☐ 専門科(血管外科等)による処置 ☐ カテーテル ☐ その他()		
└ 腹腔動脈圧迫症候群	合併症への対応	☐ 経過観察 ☐ 当該科による処置 ☐ 専門科(血管外科等)による処置 ☐ カテーテル ☐ その他()		
└ 尿管損傷	合併症への対応	経過観察 / 専門科(泌尿器科等)による処置 / その他()		
└ 腎損傷	合併症への対応	経過観察 / 専門科(泌尿器科等)による処置 / その他()		
└ 肺損傷	合併症への対応	経過観察 / 専門科(呼吸器外科等)による処置 / その他()		
└ 気胸	合併症への対応	経過観察 / 胸腔ドレーン挿入 / その他()		
└ 血胸	合併症への対応	経過観察 / 胸腔ドレーン挿入 / その他()		
└ 腸管損傷	合併症への対応	経過観察 / 専門科(消化器外科等)による処置 / その他()		
└ 肝損傷	合併症への対応	経過観察 / 専門科(消化器外科等)による処置 / その他()		
└ 乳び胸(胸腔)	合併症への対応	経過観察 / 専門科(呼吸器外科等)による処置 / その他()		
└ 食道損傷	合併症への対応	経過観察 / 専門科(消化器外科等)による処置 / その他()		
└ 反回神経麻痺	合併症への対応	経過観察 / 専門科(耳鼻科等)による処置 / その他()		
その他	合併症名			
	合併症への対応			

#2

JOANR 入力用フォーム

JSSR-DB

JOANR 調査票【JSSR-DB詳細版】

症例毎に記入。調査票はコピーしてご使用下さい。

手術日

西暦年 月 日()

入力者備考

■術後合併症(術後 30 日以内に発生した合併症) ☐再手術無 ☐再手術有

合併症(大分類)	☐ なし	☐ 血管損傷 ☐ 硬膜外血腫 ☐ 神経症状・筋力関連 ☐ セメント漏出 ☐ 主要臓器関連 ☐ 脊柱支持組織損傷 ☐ 硬膜損傷・髄液漏	
		☐ 固定金属関連・骨移植関連 ☐ 人工頸椎椎間板関連 ☐ Surgical Site Infection その他()	
血管損傷	合併症	☐ 大血管損傷 ☐ 椎骨動脈損傷 ☐ その他の血管損傷	
└ 大血管損傷	合併症への対応	☐ 経過観察 ☐ 当該科による処置 ☐ 専門科(血管外科等)による処置 ☐ カテーテル ☐ その他()	
└ 椎骨動脈損傷	合併症への対応	☐ 経過観察 ☐ 当該科による処置 ☐ 専門科(血管外科等)による処置 ☐ カテーテル ☐ その他()	
└ その他の血管損傷	合併症への対応	☐ 経過観察 ☐ 当該科による処置 ☐ 専門科(血管外科等)による処置 ☐ カテーテル ☐ その他()	
硬膜外血腫	合併症	☐ 椎弓切除 ☐ 血腫除去	
神経症状・筋力関連	合併症	☐ 術後上肢麻痺 ☐ 術後下肢麻痺 ☐ 術後感覚神経麻痺 ☐ 大腰筋筋力低下(側方進入アプローチに伴うもの) ☐ 膀胱直腸障害 ☐ 上記以外の神経合併症	
└ 術後上肢麻痺	合併症への対応	経過観察 / 再手術 / ステロイド投与 / その他薬物治療 / その他()	
└ 術後下肢麻痺	合併症への対応	経過観察 / 再手術 / ステロイド投与 / その他薬物治療 / その他()	
└ 術後感覚神経麻痺	合併症への対応	経過観察 / 再手術 / ステロイド投与 / その他薬物治療 / その他()	
└ 大腰筋筋力低下(側方進入アプローチに伴うもの)	合併症への対応	経過観察 / 再手術 / ステロイド投与 / その他薬物治療 / その他()	
└ 膀胱直腸障害	合併症への対応	経過観察 / 専門科(泌尿器科等)による処置 / その他()	
└ 上記以外の神経合併症	合併症への対応	経過観察 / 再手術 / ステロイド投与 / その他薬物治療 / その他()	
セメント漏出	合併症	☐ セメント漏出(脊柱管内) ☐ セメント漏出(血管内)	
└ セメント漏出(椎体形成に伴うもの(脊柱管内))	合併症への対応	☐ 外科的摘出 ☐ 除圧 ☐ その他()	
└ セメント漏出(椎体形成に伴うもの(血管内))	合併症への対応	☐ 外科的摘出 ☐ その他()	
└ セメント漏出(セメント注入スクリュー関連(脊柱管内))	合併症への対応	☐ 外科的摘出 ☐ 除圧 ☐ その他()	
└ セメント漏出(セメント注入スクリュー関連(血管内))	合併症への対応	☐ 外科的摘出 ☐ その他()	
主要臓器関連	合併症	☐ 上腸間膜動脈症候群 ☐ 腹腔動脈圧迫症候群 ☐ 尿管損傷 ☐ 腎損傷 ☐ 肺損傷 ☐ 気胸 ☐ 血胸 ☐ 腸管損傷 ☐ 肝損傷 ☐ 乳び胸(胸腔) ☐ 乳び漏(後腹膜腔) ☐ 食道損傷 ☐ 反回神経麻痺 ☐ 気道閉塞 ☐ 咽後膿瘍 ☐ 嚥下障害 ☐ 腹壁ヘルニア ☐ 腹壁麻痺	
└ 上腸間膜動脈症候群	合併症への対応	☐ 経過観察 ☐ 当該科による処置 ☐ 専門科(血管外科等)による処置 ☐ カテーテル ☐ その他()	
└ 腹腔動脈圧迫症候群	合併症への対応	☐ 経過観察 ☐ 当該科による処置 ☐ 専門科(血管外科等)による処置 ☐ カテーテル ☐ その他()	
└ 尿管損傷	合併症への対応	経過観察 / 専門科(泌尿器科等)による処置 / その他()	
└ 腎損傷	合併症への対応	経過観察 / 専門科(泌尿器科等)による処置 / その他()	
└ 肺損傷	合併症への対応	経過観察 / 専門科(呼吸器外科等)による処置 / その他()	
└ 気胸	合併症への対応	経過観察 / 胸腔ドレーン挿入 / その他()	
└ 血胸	合併症への対応	経過観察 / 胸腔ドレーン挿入 / その他()	
└ 腸管損傷	合併症への対応	経過観察 / 専門科(消化器外科等)による処置 / その他()	
└ 肝損傷	合併症への対応	経過観察 / 専門科(消化器外科等)による処置 / その他()	
└ 乳び胸(胸腔)	合併症への対応	経過観察 / 専門科(呼吸器外科等)による処置 / その他()	
└ 乳び漏(後腹膜腔)	合併症への対応	経過観察 / 専門科(消化器外科等)による処置 / その他()	
└ 食道損傷	合併症への対応	経過観察 / 専門科(消化器外科等)による処置 / その他()	
└ 反回神経麻痺	合併症への対応	経過観察 / 専門科(耳鼻科等)による処置 / その他()	
└ 気道閉塞	合併症への対応	再挿管 / 気切 / 再手術	
└ 咽後膿瘍	合併症への対応	経過観察 / 洗浄ドレナージ / その他()	
└ 嚥下障害	合併症への対応	経過観察 / 再手術 / その他()	
└ 腹壁ヘルニア	合併症への対応	経過観察 / 専門科(消化器外科等)による処置 / その他()	
└ 腹壁麻痺	合併症への対応	経過観察 / 専門科(消化器外科等)による処置 / その他()	
脊柱支持組織損傷	合併症	☐ 前縦靱帯損傷 ☐ 椎体損傷	
└ 前縦靱帯損傷	合併症への対応	インプラントの追加・入れ替え / その他()	
└ 椎体損傷	合併症への対応	インプラントの追加・入れ替え / その他()	

合併症	☐ なし	☐ 急性心不全 ☐ 心筋梗塞 ☐ 肺梗塞 ☐ 肺塞栓 ☐ 末梢静脈血栓症(症候性) ☐ 重症呼吸不全 ☐ 誤嚥性肺炎 ☐ 肺炎 ☐ 無気肺 ☐ 肺水腫 ☐ 脳梗塞 ☐ 術後譫妄 ☐ 認知症 ☐ 腸閉塞 ☐ 偽膜性腸炎 ☐ 消化管潰瘍・胃穿孔 ☐ 重症膵炎 ☐ 重症肝炎 ☐ 重症胆嚢炎 ☐ 急性腎不全 ☐ 尿路感染症 ☐ DIC ☐ 敗血症 ☐ 入院中の転倒・転落による骨折 ☐ 死亡 ☐ その他(	
	合併症名		
()	合併症への対応	☐ 経過観察のみ ☐ 保存的治療 ☐ 内視鏡治療・IVR 等 ☐ 手術治療 ☐ その他()	
	合併症の転帰(術後30日時点)	☐ 改善 ☐ 不変 ☐ 悪化 ☐ 本合併症で死亡	
()	合併症への対応	☐ 経過観察のみ ☐ 保存的治療 ☐ 内視鏡治療・IVR 等 ☐ 手術治療 ☐ その他()	
	合併症の転帰(術後30日時点)	☐ 改善 ☐ 不変 ☐ 悪化 ☐ 本合併症で死亡	
()	合併症への対応	☐ 経過観察のみ ☐ 保存的治療 ☐ 内視鏡治療・IVR 等 ☐ 手術治療 ☐ その他()	
	合併症の転帰(術後30日時点)	☐ 改善 ☐ 不変 ☐ 悪化 ☐ 本合併症で死亡	
その他	その他の合併症名		
	合併症への対応	☐ 経過観察のみ ☐ 保存的治療 ☐ 内視鏡治療・IVR 等 ☐ 手術治療 ☐ その他()	
	合併症の転帰(術後30日時点)	☐ 改善 ☐ 不変 ☐ 悪化 ☐ 本合併症で死亡	